

※講座・イベントの予定は変更になる場合もございます。
その他の講座・イベントに関する情報等、詳細はみえ森づくりサポートセンター HP でご確認ください。

講座のご案内

令和8年度 みえ森林教育講座

講座名	講座内容	定員	開催時期（予定）	開催場所
現場視察編	三重県環境学習情報センター主催の You tube セミナーサステイナブルな林業のかたち「三重の林業。林業を未来につなぐ」という講座で吉田正木さんが講師を務めます。その講座の現地体験版として、みえ森づくりサポートセンターの現場視察を実施します。	15名	令和8年 10月18日（日）	吉田本家山林部所管林、ひのき家
森づくりのための基礎編	ノコギリなどの手道具による伐木造材作業やロープワークなどの森づくりに必要となる基本的な知識と技術を実践しながら学びます。	15名	令和8年 11月29日（日）	県林業研究所みえ森林・林業アカデミー棟及び川口実習林

令和8年度森のせんせい養成講座

講座名	講座内容	定員	開催時期（予定）	開催場所
NEAL リーダー編	子どもたちの主体的な深い学びを促し「自ら考え判断して行動する力」「生きる力」を育むうえで重要な、森林や野外をフィールドにした自然体験活動を、専門的な知識と技術をもって指導できる「自然体験活動指導者」になることをめざします。 ※講座受講後、「NEAL リーダー」の資格取得が可能です。	15名	令和8年 11月26日（木）、 27日（金）、 12月19日（土）、 20日（金）	津市野外活動青少年センター
LEAF ローカルインストラクター編	子どもたちに森林の価値、役割、バランスについて考え、主体的にかかわっていくことを目的とした環境教育、また、そういった環境教育に関わる指導者の育成を目的とした LEAF プログラムの体験及び実践を通じ、LEAF ローカルインストラクターをになることをめざします。※講座受講後、「LEAF ローカルインストラクター」の資格取得が可能です。	10名	令和8年 11月21日（土）、 22日（日）	吉田本家山林部所管林、ひのき家

イベント開催のお知らせ



三重県内でのイベント開催などに合わせて「森の学校」を開催します！
「森の学校」で、森林や自然に親しみながら、その大切さを森のせんせいと一緒に楽しく学びましょう！

森の学校予定表

イベント名	内容（予定）	開催時期（予定）	開催場所（予定）
伊勢市環境フェア	木のストラップ作り & ミエトイ・キャラバン	10月4日（日）	三重県営サンアリーナ
森の学校 in みえこどもの城 「木の実で自由工作」	木の実の工作	10月24日（土）	三重県立 みえこどもの城
津農林水産まつり	スイングバード作り体験	11月7日（土）	津市丸の内商店街
つ・環境フェスタ	みえの木で ぶんぶんコマづくり	11月14日（土）	メッセウィング NHW



発行：三重県 編集：みえ森づくりサポートセンター
みえ森づくりサポートセンターは、三重県から公益社団法人三重県緑化推進協会が受託し運営しています。
TEL:059-261-1223 FAX:059-261-4153 mail:miemori@zc.ztv.ne.jp
web <http://www.zb.ztv.ne.jp/miemorisc> facebook <https://www.facebook.com/miemoridukuri/>
Instagram <https://www.instagram.com/miemoridukuri/>



SC ホームページ



SC Facebook



SC Instagram



県民税 PR 動画

このニュースは「みえ森と緑の県民税」を活用して発行しています。



MORI DUKURI NEWS

2026.9

拡大号

TOPICS /

「森の学校で『カンナくずでふわふわポンポン』をつくりました！ 〈6月14日（日）開催〉

最初に森のせんせいから、三重県の森にたくさん植えられているスギやヒノキの特長について、クイズ形式で参加者に答えてもらいながら、お話をしました。

次に「カンナくずでふわふわポンポン」では、①カンナで削ったスギとヒノキをポンポンにするため、ある程度の長さで折りたたみ、中心を麻ヒモでとっくり結びにしました。②両端をハサミでカットし、指で細かく割いて、丸く成形しました。③最後に葉や木の実などを飾りつけて完成させました。

参加者からは「小学校などでも機会があるといいと思いました」、「簡単にかわいくつくれて、とても楽しかった」などの意見がありました。



津市立南が丘中学校で出前授業を実施しました。 〈7月3日（金）実施〉

津市立南が丘中学校で、出前授業を実施し、『竹明かり』作りのため、生徒たち自らで資材調達の準備をしてもらいました。

出前授業では、タケの伐採、搬出、枝払いを見学してもらうとともに、生徒代表によるタケの伐採体験と生徒全員で搬出したタケをたき火にかざしての油抜き、作品の長さへの採材をしてもらい、自分の材料を確保しました。暑い中でしたが、伐採したいと希望する生徒や、たき火の上で丁寧に油抜きする生徒が多く、積極的に授業に参加していました。南が丘中学校では、9月にもう一度、確保した材料での「竹明かり」作りの出前授業を実施する予定です。



— pick up —

森づくり活動団体 グリーンボランティア 「美旗春日の森」 (名張市)



みえ森づくりサポートセンターには、森林や木に関するさまざまな知識や技術を持った方々が森のせんせいや森づくり活動団体として登録されており、県内各地域で森林教育活動や森林整備活動を行っています。今回は、森づくり活動団体の方達が日頃地域でどのような活動をされているのか取材してみました。この「pick up」コーナーでは、森づくり活動団体の活動を紹介していきます。

【美旗春日の森 とは】

かつて美旗地域にあった里山林（昭和30年代頃まで薪や肥料などを採り、人々の生活と密接に繋がっていましたが、現代では手入れもされず放置され、荒廃していることが多いです。）を2016年から整備し、地元の子どもから大人まで多くの方々に親しんでもらえる森にしようと、代表の福永義行さんを中心に活動が始まりました。

2020年4月1日、正式に「美旗 春日の森」として活動組織を設立しました。整備活動に必要な費用は、会員からの寄付金で運営していましたが、資機材保管庫建設費用や作業道開設費用、重機を利用した危険木の伐採作業費用などの多額の費用を捻出することに限界があったので、三重県緑化推進協会の助成金制度を活用しながら、1haの里山の整備を実施してきました。

メンバーは正会員7名とα Day 会員からなっており、最年少は20代、最年長は80歳近い方もおり、幅広い年代の方が会員となっています。

定例活動日は、基本的に第2、第4月曜日の9時～12時となっています。

《作業道・林道・散策道開通》2016年9月～2021年11月24日

整備する前は鬱蒼とした荒れ果てた森でした。まず、バックホウを使用して作業道やフィールドを整地し、フィールド内を一周する作業道をつくりました。そこから除間伐、草刈などをしながらフィールドを整えていきました。全ての活動費用は参加者の会費や寄付金でまかなっていたために、作業道の開設工事でも建設機械運転の資格を持った会員が中心となって行いました。多くの労力や費用がかかりました。



危険木の伐採作業、笹草の刈払い作業、小枝などのチップパー処理作業

作業完了後の様子

《小屋づくり開始》2019年12月～2020年12月23日

酷暑期や厳冬期に屋外での休憩は厳しく、休憩のための小屋を作ろうと、設計図の作成から始めました。

翌年には建築を開始。天窓付き、雨水タンク付きのステキな木造の小屋が建ちました！その後も、道具小屋や重機小屋も建て増しました。

今年、天窓を作り直しました。毎年の夏の高温で屋根が高熱になり、窓が歪んで雨漏りし始めたため、壁の上方に作り直し、休憩小屋は日々進化しています。



2020.11/21
この日は、柱と桁の組付け作業から始めました。写真は建屋全体を垂木受けや垂木でつなぐ作業。この日で棟上げ完了。



2020.12/5
屋根に野地板を取り付け、天窓も付け、屋根工事完成



2020.12/23
壁板を取り付け、塗装、建具取り付け、建具開閉調整作業、小屋完成！

《初めてのイベント開催》2026年7月26日（日）

フィールドを活用した初めてのイベント

「森林教室 ～親子で里山散策と…かぶとむしを育てよう！～」を実施しました。

カブトムシが産卵し、幼虫が育ち、羽化する場所になる「ビートルズベッド」は、2019年から準備し、成虫になったカブトムシを飼育する木製の小屋も作りました。

開催に向けての準備も念入りにし、初めて開催するイベントが成功するかドキドキしながら当日を迎えました。

イベント当日は、たくさんの親子が参加してくださいました。地元のカブトムシ飼育名人の西口さんにカブトムシについての講師を務めていただき、子どもたちも大喜び。その後、フィールド内をメンバーが案内して散策しました。



イベント開催に向けての事前打ち合わせ。どんな内容にするか、手作りした配布資料なども確認して話し合いました。その後、フィールド整備などについて、「今日の作業は、草刈と小屋の窓を壁に作ります。」と代表の福永さんがメンバーに活動内容を話しました。



イベント当日。活動メンバーが参加者をフィールド散策に案内しました。ここは「春日広場」です。美旗春日の森のシンボルツリーでもあるクヌギの大木が一本生えています。

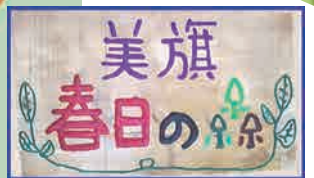


ビートルズベッドから出てきたカブトムシを入れておくカブトムシ小屋

《アサギマダラ飛来》

2024年10月23日

フィールド内にはフジバカマやヒヨドリバナが自生しています。これからは、フジバカマの植栽地も整え、アサギマダラが毎年訪れてくれることを期待しています。



ぜひ散策に
来てください！
会員も募集中です！